



済井出より古宇利大橋を臨む海岸

愛楽園訪問で 差別を考える

ガイドさんへのお礼状紹介



渡久山さんへ

先日、愛楽園を実際に見て回り、沢山のことを学びました。知る前と後では、同じ資料を見ても、受け取る印象が全然違っていました。ハンセン病や愛楽園の歴史を知ったことで、差別や偏見について以前よりも深く考えられるようになりました。もし、自分がハンセン病患者だったら？もし自分が差別する側の人間だったら？自分は何ができたか分かりませんが、むしろ、何もできなかったかも知れません。その時代を生きてきた患者さんの事を考えると、悲しくて仕方ありません。これからは、幸せに生きてほしいと心から思いました。このようにハンセン病のことを知り考えを持つことができたのも渡久山さんのおかげです。忙しい中、誠にありがとうございました。

1組 T・M

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 94 号
R1. 9. 13



1組 T・M

渡久山さんへ
本日は、私たちの校外学習に大切なお時間を割いてくださり、ありがとうございました。おかげで皆さんの事を学びました。その中でも私は、「早田嬢」のお話を聞いて、とても悲しくなりました。ハンセン病患者の方達は、一般の火葬場で火葬されることもできず、生きていた時でも亡くなっても、ハンセン病患者であることだけで、様々な差別、偏見に苦しめられ、とてもつらかったと思います。今回、このようにガイドの渡久山さんのおかげで実際に施設の場所を周りながらお話をしていただいた事は、とても貴重な体験となりました。本日は暑い中、本当にありがとうございました。



K「俺も写りたいよー」



浦島さんへ
今日は暑い中、私たち羽地中2年生に愛楽園のことを色々教えてください。汗を流しながらも、私たちに



浦島さんへ
教えてくださる姿に、本当にすごいなと思いました。浦島さんがおっしゃっていた済井出小中学校のことがとても印象に残っています。卒業しても、その卒業証書を破る人が多いと聞いてびっくりしました。愛楽園の中にある学校だから差別されたり、卒業生だと知られて仕事につけなかったり、苦しんでいたんだなと改めて思いました。話を聞いていて、とても胸が苦しくなってきました。差別って本当になくなってほしいとも思いました。誰もが安心して楽しく幸せに生きる、暮らせる世の中になってほしいなと思いました。私たちにできることを考えていきたいです。浦島さん、体調に気を付けてください。今日は本当にありがとうございました。

浦島様へ
お忙しい中、僕たちにガイドをしてくださり、ありがとうございました。浦島さんの説明はとても分かりやすくて、ハンセン病や愛楽園の歴史をよく知ることができました。ハンセン病患者を差別していた事実を知り、ショックでした。同じ人間として恥ずかしいとも思いました。「ハンセン病患者は国の恥だ。」という考えに納得がいきません。治療薬があるのに患者を助けない方が恥だと言いつ返したい気分です。今日は差別や偏見のことを教えてくださり、ありがとうございました。僕も差別をなくすためにできることがあったら、やってみようと思います。

3組 S・A